

企業人向け《合宿》英語特訓課程
(4週間泊まり込み集中教育)

1981年講座御案内

BUSINESSMENS
PROGRAM

LIQJ
LIQJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

＝企業人向け《合宿》英語特訓課程の御案内＝

本課程は、海外出張・海外駐在を予定しているビジネスマンや、日頃仕事上で外国人と接触する機会の多い方、及び職業柄特に英語を必要としている「全職業者」のために企画された「英語」と「コミュニケーション」の特別集中教育講座です。

短期間に集中的かつ実践的な“特訓”を受けて英語力の飛躍的増強を図ると同時に、日本語社会から切り離された「英語オンリー」の環境に一定期間缶づめになるという、言わば「ショック療法的な生活体験」を通して、異なる文化に対する理解と適応力を養い、激動する国際情勢に対抗しうる本格的国際ビジネスマンの養成を目的とします。

本課程の特色

①全寮制による集中教育

4週間(26泊27日)の期間中は完全に日常業務から離れて英語学習に専念していただけるよう、完全全寮制を敷く一方、外国人講師と朝から晩まで生活を共にし、合計240時間におよぶ授業はもちろん、日常生活のすべてを英語で行い日本語の使用は一切厳禁という、語学教育にとって理想的なTotal Immersion方式を採用しています。

②優秀な講師陣

講師はすべてNative Speakerで、英語を第二言語として教える学位(ESL)を修得した語学教育のエキスパートを中心に、会計・法律などさまざまな分野から経験豊富なキャラクターをそろえています。採用にあたっては、有名ビジネススクールをふくむ米国、カナダの一流大学の推せんにもとづき、校長が毎年渡米して直接インタビューを行った上で人格、能力ともに最もすぐれた学究を招へいしているほか、赴任後も常に最高のコンディションで指導にあたるよう効果的な教授法の開発に努め、LIOJ講師陣の研究実績はESL教育界にあつては日本はおろか世界的にもトップレベルの内容を誇っています。1981年度は15名の講師のうち13名が修士もしくは同等の学位をもっています。

③能力別少人数教育とバラエティーに豊んだ受講者

各回定員を34名以下に限定してきめの細かい個人指導を行う一方、1クラスを8名前後に編成してグループによる問題解決能力の開発を図ります。受講者は毎回さまざまな企業・団体の幹部から中堅層、新人に至るまで、事務系・技術系を問わずいろいろな立場の方が参加されますが、年齢や役職にとらわれない自由な雰囲気でのコミュニケーション集団が形成されます。

④BUSINESS STUDIES

ビジネス関係資料やVTR装置を活用して、ケーススタディー・ロールプレイ等を行い、国際ビジネスの場で必要とされる知識の習得を図ると共に、具体的な事例——商談上のマナー、交渉の進め方と注意点、会議におけるフォーマルな英語表現、会社及び商品の説明etc——に関して実践的な指導をいたします。

⑤CULTURAL INTERACTION

講師をはさんで4～5人ずつが1つのテーブルについて毎日食事をとっていただくほか、カクテルパーティー、スライドショー、バス旅行その他特別に準備されたプログラムを通じて、外人コンプレックスを克服し、英語による自然なコミュニケーションスキルを会得し、異なる文化に対する理解と効果的な対話をすすめる能力を養います。

昭和45年開講以来、御好評をいただき、すでに全国375の企業、大学、研究所から2092名を越える受講者があり、それぞれ内外の第一線でご活躍中です。ますます複雑化する国際情勢の中で、新たな段階を迎えつつある我が国企業の明日をになう人材育成の場として、この企画が広くお役に立てば幸いです。



第101期生
森下 一乗

「Hello! My name……」電話をとるとスムーズに英語が出てくる。毎朝7時起床。8時半から夜8時半迄レッスン。それ以降教師を囲んで友人達と経済問題の討議、たまには先生と夜遅くまで酒をくみかわしながらのディスカッションという毎日である。日本語を一切使わず4週間合宿するシステムは、日本でも独特のものである。各コース30人。それを6~8人の小クラスに分けるが、少人数で運営されていることもあって、ビジネスマンにはまだそれ程広く知られているとは言えないであろう。

会社に入って17年目、英語と直接関係のない管理部門が長かった私は、英語に対して若干のコンプレックスを感じていたところに、このコースの経験者の話を聞き会社の理解を得て参加することにした。こうして10数名の教育専門の外人教師に囲まれ、同じ環境の中で特訓されていると今迄の心配が嘘のようである。

日本人は書く力と読む力は強いが、話す力、聞く力が不足していると言われていた。何といても外国で育ったNative Speakerに直接教えるにこしたことはない。かつ、外国と日本との文化、考え方の違いも討議又は食事時間の中で十分吸収することができる。

日本の企業も国際化時代をむかえ、社員の語学能力を高めることには十分意を用いているところであると見られるが、外国留学に準じた効果をこのコースでねらえるのではないだろうか。4週間仕事を離れることは難しいが、語学力があるレベルに達するためには必要な期間であろう。

私のケースでいえば、LIOJのコースに参加したおかげで、教師、クラスメート(年齢、会社、専門が異なる)から新しい物の見方、討議の仕方を教えてもらったこと、十分ではないが、ものおじしない、しかもいざに英語で話ができるようになったことを心から感謝している次第である。なお、大学卒の若手教師の方々が遠くアメリカ、カナダから使命感に燃えて指導にあたってくれること、研修所の清潔さ、食事への心配り、又、非営利のコース運営に当たっているスタッフの方々にもお礼を申し上げたい。

どうか、英語を話し、聞く能力を高めたいと考えておられる方は、ぜひこのコースにトライしてみられてはいかがであろうか。ケース・スタディ、映画を使っただの講義、LL、ビデオの活用等、型にはまらない教授方法はユニークなものである。年齢、経験は問われないので、今後数多くの方々がこうしたコースを受講されるようおすすめする次第である。又、会社の人事部門、能力開発部門の方々も、現地を見学し、教授方法を見られると業務上も参考になるであろう。

(新日本製鐵株式会社)



第104期生
柴柳 英二

数多い語学学校の実態は自分なりに色々情報を集めてはいたが、海外勤務につく若い人から、どこで英語を勉強してゆけば良いでしょうかと尋ねられた時には、何時もその返答に困っていた。今回思い掛けなくも自ら50の手習いをせねばならぬ羽目となり、4週間をLIOJで過したが、LIOJこそ正に自分が期待していた

学校であったと自分で確めることが出来た。特に印象の強かったことを思いつく儘に書き並べると――

- (1)教師陣の英語教育にかける使命感と献身的な熱意
- (2)ありきたりの教科書を使わない多方向からのアプローチ
- (3)如何にしてコミュニケーションを図るかに焦点を合わせた多彩なカリキュラム
- (4)会話能力向上に重点をおきながらも徹底的な基礎英語の復習
- (5)日本人の陥りがちな弱点を矯正した丁寧に正しい英語の指導
- (6)海外赴任を目前に控えた熱心な生徒連中の一種の連帯感

等々列挙のいとまがないが、特に、自分達のブランクな英語のスピーチを、教師が労を厭わずにテープから書き取って、一人一人に適切な指導をして貰ったことは、何よりも有難かった。しかも最大の収穫は、今後どう云う勉強を続ければ良いかと云うことに就いて自分なりの方向と方法を見出すことが出来たことだと思っている。海外勤務を控えた人には、今後迷うことなくLIOJを奨め度い。(三菱重工株式会社)

日本語より英語の方がとっさに出る人も……



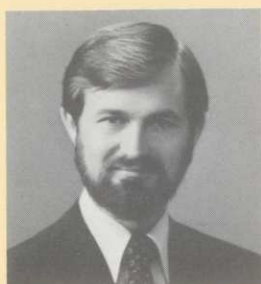
西山 千
(国際コミュニケーター)

英語をいっそう集中的に学習する方法として、英語国民と数週間合宿する方法がある。その例は、小田原のLanguage Institute of Japan (LIOJ)に見られる。LIOJはアメリカ人の校長の下で若いアメリカ人が十人ないし十数人先生になっていて、そこに日本人研修生が数十人いっしょに泊り込んで、朝から晩まで英語だけで話をする。食事のときも読書についても英語で話し合う。教室ではもちろん英語である。(中略)LIOJに参加して二週間ぐらい集中教育を受けると、人によっては日本語が簡単に出なくて、英語の方がとっさに出るようになる。それが一つの峠を越えた証拠だろうと思う。

著書「英語のでこぼこ道」より抜粋。(サイマル出版会)

LIOJ

DIRECTOR & FACULTY



P. Lance Knowles
(Director)

The increasing influence and business relationships of Japan have brought her into the international scene as a major power with global responsibilities. To this end, English, as the international language, has become a vital concern for the Japanese business and intellectual community.

We at LIOJ are dedicated to benefiting Japan and the international situation by teaching English in a way that facilitates successful communication and understanding. Our residential program, which brings together businesspeople and professionals from many of Japan's most important and successful companies, allows participants and faculty to come together as

people rather than just as students and teachers. Much of the awkwardness that often accompanies interaction between Japanese and non-Japanese peoples is overcome during a typical four-week term at LIOJ, and in addition to developing the English and cultural skills that are necessary for doing international business, LIOJ participants are encouraged to learn how to use English for expressing their own personalities and ways of thinking. This is necessary if communication is to be anything more than a mechanical exchange of data.

LIOJ has been offering this 'English Only' residential program for the past thirteen years. We believe that it is through such a residential program that we can best serve the communication needs of those businesspeople and professionals selected by their companies for training at LIOJ. We are determined to do our best to continue serving the Japanese business community in this very important way.

校長略歴

米国カリフォルニア州出身、物理学と数学の研究で学位を取得後、カリフォルニア大学バークレー校にて、第二言語としての英語教育(ESL)専門家として実績を積み、新しい教本を製作する一方、ミシガン大学より Danforth Teaching Fellowship の称号を受けて教壇に立つなど米国各地で幅広い活躍を果たす。



John Battaglia

M.A. English, University of Iowa; B.A. English, Montclair State College. Has taught E.S.L. in Malaysia, and has traveled in Asia and Europe. Enjoys hiking, literature, and talking with people.



Marilyn Fisher

J.D. (Juris Doctorate) Duquesne University School of Law; B.A. Political Science, Law, American Univ. Attorney and former Assistant City Solicitor, Erie, Pa. Has taught law in the MBA Program, Gannon College. Enjoys crafts, skiing, and whitewater rafting.



Bill Gatton

M.A. in progress, Creative Writing, San Francisco State University; B.A. Political Economy and History, Towson State University. Has taught politics and government in the U.S.



Ian Green

M.A.T. (ESL) School for International Training; B.A. History and Economics, Flinders Univ., Australia. Originally from Australia, he has lived and taught in North America for the last nine years. He enjoys skiing, hiking, and chess.



Thomas Johnson

M.B.A. Amos Tuck School of Business Administration, Dartmouth College; B.A. History, Colgate University. In addition to teaching ESL in Japan, he has worked in marketing and banking. His interests include nordic skiing, canoeing, and mountain climbing.



Warrick Liang

B.A. History, University of California, Berkeley. Has taught in the U.S. and for a company in Japan. A Chinese-American, he is interested in Chinese and American History, social institutions, and languages. He enjoys tennis and hiking.



Steven Linke

M.A.T. (ESL) School for International Training; B.A. Asian Studies, University of Wisconsin. He studied for a year at Banaras Hindu University in India and has also taught ESL in Korea and the U.S. His interests include photography.



Virginia LoCastro
Academic Supervisor

M.A. Applied Linguistics, Laval University, Canada; M.A. French/Linguistics, Indiana University. Has taught in Canada and the U.S., and has lived in Europe. She enjoys reading, hiking, traveling, and various crafts.



Valerie Oszust

B.Ed. (TESL) Concordia University, Canada; Quebec Teaching Permit. Has taught ESL in Canada, and has travelled to Europe and Latin America. Her interests include chess, languages, dancing, and newspaper layout.



Gerry Ryan
Editor, Cross Currents

M.A. Linguistics/TESL, San Jose State University; B.A. English Literature. In addition to teaching in the U.S., she has co-authored a textbook. She enjoys tennis, softball, jazz, and travel.



Ruth Sasaki

M.A. in progress, Creative Writing, S.F. State University; B.A. English Literature, Univ. of California, Berkeley. Has taught ESL in the U.S. and has co-authored a textbook. Her interests include writing short fiction, films, reading, and music.



David Sigaty

M.B.A. in progress, Finance and International Business, Univ. of California, Berkeley; B.A. Accounting, Michigan State Univ. Has business experience, and is a licensed C.P.A. in the State of California. His interests include golf, fishing, and films.



Thomas Smith

M.A. in Law and Diplomacy, Fletcher School of Law and Diplomacy; B.A. Demography and Population Studies, Duke Univ. Has worked as a Research Assistant, and also as an editor, for the Fletcher Forum. Enjoys canoeing, rock climbing, and soccer.



Harold Surguine

M.A. TEFL San Francisco State Univ.; B.A. English, Sonoma State Univ. Has taught ESL in the U.S. and has published ideas that were presented at professional conferences. His interests include Navajo language and culture, and folkdancing.



Nobuhito Seto

Yoshiko Oguri
Secretary

Masami Takahashi
Executive manager

Yayoi Yamamoto
Secretary

LIOJ

《合宿》特訓課程の概要 CURRICULUM

本課程は、語学教育にとって理想とされているTELLS (TOTALLY ENGLISH LIVING & LEARNING SITUATION) 方式を、日本で唯一本格的に採用している全職業人のための「英語・特訓プログラム」で、4週間=240時間を越える授業と課外生活(食事、パーティーetc.)を新進気鋭の外国人講師と共に過ごしていただき、日本人ビジネスマンが最も不得手とするリスニング、スピーキング能力を飛躍的に向上させると同時に、外国社会、文化、ビジネス習慣などの理解を深めて外国人との「効果的な対話」を行うコミュニケーション能力の強化増進を図ることを目標としています。

受講資格

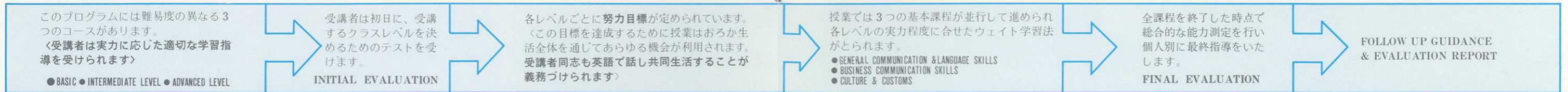
高校卒業程度の基礎英語力を持つ18才以上の方で英語習得を熱心に希望され、4週間の合宿生活に耐える心身ともに健康な方。



1日のスケジュール(月曜～金曜) DAILY STUDENT LIFE

8:00-8:30 Breakfast	8	16	3:30-4:30 Free time
8:30-12:10 General Communication and Language Skill Development (Synthetic)	9	17	4:30-6:00 Communication and Language Skills for the Businessman and Professional.
	10	18	6:00-7:00 Dinner with teachers
	11	19	7:00-8:30 Communication and Language Skills for the Businessman and Professional (This period sometimes includes time for homework and review, and Special Lectures are given once a week.)
12:10-1:10 Lunch with teachers	12	20	
	13	21	
1:10-3:30 General Communication and Language Skill Development (Analytic)	14	22	
	15	23	Free Time/Self-Study/Evening Programs

■土曜日の午前中は、特別企画を行い土曜日の午後から日曜日にかけてはフリータイムです。



レベル	努力目標	各レベルに共通する基本課程			能力評価
LEVEL	GOAL	GENERAL COMMUNICATION AND LANGUAGE SKILLS	BUSINESS COMMUNICATION SKILLS	CULTURE & CUSTOMS	EVALUATION
BASIC LEVEL ◆対象者 このコースは、英語の基本については学んだものの、相当期間英語学習から離れていたため再度基本についての学習を要し、さらに一般的なビジネス英語の習得と、外国社会について理解を深める必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 日常生活でよく使われる基本的な言いまわし、文法、ボキャブラリー等を学習し、それらを合宿生活の中で実践してみることで、英語によるコミュニケーションの実態をつかむことに重点が置かれます。	基本的な英語力を身につけると共に、それを日常生活の中で会話として生かすことができ、一般的なビジネスの場において簡単な意志伝達を行うことができるようになる。 ※なお、このレベルに該当する受講者で、課程終了後直ちに複雑な海外業務に赴任が決まっている場合は本課程を再度、連続か又は隔月で2期以上受講することをおすすめします。	教師は、特定の教授法にこだわらず、受講者が興味を抱く受講者のニーズに合った適切な手法を用いて指導に当たります。 伝統的な教方から最新理論に基づくものまで各種の教授法を駆使して、英語によるコミュニケーション能力の増強を図る課程です。	実践的なビジネス英語の習得と国際ビジネス社会で必要とされる知識と教養を身につける課程です。	徹底した英語オンリーの欧米文化的生活を通じて異なる言語文化への理解と適応力を養う課程です。又、LIOJでは毎年定期的にタイ国、韓国からも奨学生を招いていますので欧米だけでなく、アジア近隣諸国の現状にも触れながら国際理解を深めていただきます。	INITIAL EVALUATION ORAL INTERVIEW (口頭面接) PLACEMENT TEST (選択問題) LISTENING TEST (聴解カセット) FINAL EVALUATION LISTENING TEST (聴解カセット) FOLLOW UP GUIDANCE & EVALUATION REPORT 各回最後の週に、Follow-Up 学習のための具体的な Suggestionを行います。 ※希望者にはLIOJで研究開発したビジネスマン向け学習教材「Conversational Components・中級用」(定価7,500円)がございます。 また、講座終了後、個人別に能力評価と今後の学習目標についてEvaluation Reportを行います。このReportは「コミュニケーション能力」の総合評価を試みるもので、外国人とどの程度英語でコミュニケーションできるか、また将来の業務予定に照して現在の英語力はどうかといった点について教師の所見が述べられます。
INTERMEDIATE LEVEL ◆対象者 このコースは、優れた英語の知識はあるが、それを会話力として実践の場で応用していくことに難があると共に国際ビジネス社会の基本的なルールや外国社会・文化・習慣をより深く理解する必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 日常生活や仕事上で、様々な対応を求められる外国人とのコミュニケーションを自然な形に近づけると共に、英語による一般的な「問題解決能力」の開発を図ります。	日常的な英会話ほとんど不自由なく話すことができ、ビジネスの場においても相当の意志伝達ができる英語力を身につける。又、海外での長期滞在生活にも充分適応できる知識と経験を得る。	〈多彩な教授法の一例〉 ●Thematic tapes ●Group Problem-Solving Discussions ●Taped Interviews ●Error Correction ●Fluency and Story Squares ●Speeches and Debates ●Situations and Conversation Techniques ●Silent Way ●V.T.R. Projects and Simulations ●Community Language Learning ●V.T.R. Listening in Context ●Language Laboratory Exercises ●Drama Techniques for Fluency and Body Language ●Grammar/semantic exercises ●Pronunciation/Intonation improvement	●米国のビジネススクールにおけるケーススタディの手法を取り入れて、多国籍企業、合併企業の問題点についてディスカッションを行い英語による問題解決能力の開発を図ります。 ●時事問題、国際情勢などに関するディベートとディスカッション及び自由研究。 ●VTR装置を使って行う外国ビジネス社会の習慣やルール等の学習と自己診断。 ●会議などで用いられる丁寧な表現方法、短いスピーチや会社・商品の口頭説明訓練。電話・アポイントメントの取り方、及び英語による交渉能力の増強訓練他。	●宿泊施設は全室洋室・バス・トイレ付きですので、居ながらにして快適な外国生活を体験していただけます。 ●4～5人単位で外人講師と一緒に食卓を囲みながら食事のマナーを体得する他、インフォーマルに、お互いの理解を深めます。 ●バス旅行、ハイキング、スポーツ大会等課外活動を通じて外人講師と接することにより、外人コンプレックスをとり除き、英語による自然なコミュニケーションの体得を図ります。 ●カクテルパーティー、ダンスパーティー、スライドショー等を開催し、楽しみながら、外国文化を学習します。	
ADVANCED LEVEL ◆対象者 このコースは、非常に優れた英語の知識がありかつ英会話についても相当の実力があるが、さらに国際ビジネス社会の実体について、高度な理解と実践訓練を必要とされているビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 英語をより正確にしっかりと身につけるため厳しい矯正が加えられる他、業務上で直面する複雑困難な状況を打開・達成するために不可欠な英語による高度な問題解決能力の開発を図ります。	本格的国際ビジネスマンとして必要な高度な教養と国際的視野を身につけ、ビジネス上の問題については外国ビジネスマンとほとんど対等に話し合うことができるようになると共に海外生活において相当の交際を行うに必要な知識と経験を得る。				

LIOJ

場所および施設

LOCATION & FACILITIES

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、伊豆、大島、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。200名の宿泊設備に加えて会議室、映写設備、冷暖房も完備しており受講者の方には期間中なるべく海外生活に近い雰囲気の中で受講していただくため、宿泊はすべて洋室(バス・トイレ付2~4名の相部屋)で、食事、レクリエーション、など原則として外人講師と一緒に過ごしていただけます。又、各種スポーツ用具の無料貸出しや、大型バス、L.L.システム、VTR装置等充実した設備が用意されています。

◆交通の便

新幹線
東海道線 小田原駅下車 駅からタクシー
小田急線 5分

- 東京駅から新幹線こだまで 42分
- 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
- 名古屋駅から新幹線こだまで 2時間10分



LIOJ全景



開講日オリエンテーション



食事風景



プレイスメントテスト



宿泊室



ハッピーアワー

フェアウェルディナー



ランゲージラボ演習



授業風景



先生にインタビュー



終了証書授与

4週間の合宿生活と受講者の自主活動について

受講者は「英語社会」の実際をさまざまな場面で体験的に学習するため、4週間の合宿生活全体を通じて、各種の課外活動に参加します。

なかでも特に大きなウェイトをしめるのが毎日の食事時間です。食堂では講師を囲んで4~5人ずつが1つのテーブルについて食事をとっていただきますが、合宿生活ならではのクラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルなコミュニケーションスキルを会得するに最適な時間となります。

このほか規定授業の後も各種のイブニングプログラムが催されます。プログラミングは各回若干異なりますが、「ハッピーアワー」「スライドショー」「カクテルパーティー」「フットラリー」「ボーリングゲーム」「ファミリースタイルディナー」「特別講演」等々合宿講座ならではの多彩な企画が毎週用意されるほか、土曜日の午前中も「スポーツ・レクリエーション」・「映画鑑賞」

等の催しが開かれます。又最終日には「フェアウェルパーティー」が開かれ、期間中クラス単位で製作した「プロジェクト」の発表なども行なわれます。

一方受講者には、左記にあげた規定授業と課外活動以外の時間をどう充実させるか自分自身で考えてオーガナイズして行くことが義務づけられます。これは、受け身の姿勢でない主体性をもった自発的な考えを「英語」で計画・実行することで、英語社会の中で生きる上に不可欠な「自立心・独立心」を養うためです。

たとえばグループでパーティーを計画して講師を招いたり、テーマを決めて自主研究し、卒業時に皆の前で発表したり等何でもよいのです。

LIOJで苦勞して何かを仕上げた満足感はそのまま外国で生きのびる「自信」につながることでしょう。

LIOJはそうした受講者の自主活動が120%充実したものとなるよう期待いたします。

LIOJ

過去に受講された企業等一覧 PARTICIPATING FIRMS

●建設、鉄鋼、非鉄金属、輸送用機器関係

- 旭ブレコン
- 関東建材工事
- 熊谷組
- 甲陽建設工業
- 共栄工事
- 日立プラント建設
- 日本建設コンサルタント
- 佐伯建設工業
- 清水建設
- 三井不動産建設
- 竹中工務店
- 飛鳥建設
- 東海電気工事
- 小野田エンジニアリング
- 東レエンジニアリング
- 小田原エンジニアリング
- 池貝鉄工
- 石川鉄工
- 佐藤鉄工
- 木村刃物製作所
- ミノ刃物製作所
- 日本バルジ工業
- 新日本製鐵
- 日本鋼管
- 日本金属
- 日本軽金属
- 日本金属工業
- 日本冶金工業
- 日鉄建材工業
- 三菱金属
- 新東ブレーター
- 平河電線
- 日本鋳業
- 日立造船

- 三菱重工
- 川崎重工
- 三菱自動車工業
- 三井造船
- 来島どつく
- 寺岡造船
- 中越ウウケシア
- 日本鋳鍛鋼
- ノーリツ鋼機
- 住友重機械工業
- 石川島クレーンメンテナンス
- アイシン・ワーナー
- 日本総合建築事務所
- 総合設備コンサルタント
- 日本飛行機
- 日本ファース工業
- 日本国土開発
- トヨタ自動車工業
- いすゞ自動車
- 鈴木自動車工業
- 山音響
- 日本ケーブルシステム
- 住友金属鉱山
- 国際計装
- 千代田計装
- 日本テトラパック
- リョービ
- 東邦化工建設
- ユニテッド・エンジニアリング
- 機械、電気、精密機器関係
- 小松製作所
- 奈良機械製作所
- 日本ダンフォス
- 日本空圧機工業
- 日本エヌ・シー・アール
- 昭和空圧機工業

- 油研工業
- アンテナ技研
- アルプス電気
- 富士通
- 開発電子技術
- KDD
- コパル精密
- 明電舎
- 松下電産
- 松下電装機器
- ミツミ電機
- 三菱電機
- 日本IBM
- 日本アビオロニクス
- 日本電装
- 日本インターナショナル整流器
- 日本電子
- ソニー
- 三和エレクトロニクス
- 山水電気
- 山水音響
- 立石電機
- 東大無線
- 安川電機製作所
- 横河電機製作所
- 富士電機製造
- 日立電子
- 田辺化工機
- 小松インターナショナル製造
- 河口湖精密
- 富士通テン
- 豊田自動織機製作所
- ソニーマグネトロダクツ
- バイオニア
- 三和デッキ
- 小松電子金属

- コパル
- 東洋製缶
- 沖電気工業
- 東京電力
- 九州電力
- 電源開発
- 日本通信協力
- 三和大栄電気興業
- 鐘通工業
- 新電元工業
- サントビック・ジャパン
- 東海電化工業
- シクタン
- 野村精機製作所
- 湯浅電池
- 北沢バルブ
- アイワ
- 第一精工
- 平田機工
- 日本ロシユ
- 日本電気硝子
- フィリップス工業振興
- 日本フィリップス
- 東西電機
- ソニー幸田
- 日本シェーリング
- 日本ビクター
- 繊維、パルプ、紙、化学、石油、ゴム関係
- 旭化成工業
- 大同毛織
- 日清紡織
- 大東紡織
- 三菱レーヨン
- 帝人
- 東レ
- 東邦レイオン

- 東邦ペロン
- 鐘紡
- 王子製紙
- 大王製紙
- 本州製紙
- 十條キンバリー
- 北村バルブ
- オシヨナル木材工業
- 山陽スコット
- 東洋バルブ
- バイエルジャパン
- 古糖ファイザー
- 亀山ローソク
- 関西ペイント
- 花王石鹼
- 小西写真工業
- 共栄社油脂化学工業
- 松本油脂製薬
- 三井フロクミカル
- 日華化学工業
- 日本フェーカケミカル
- 日本ケッチェン
- 日亜化学工業
- 住友バイエルウレタン
- 戸田工業
- 東芝シリコーン
- アブダビ石油
- 丸善石油
- モービル石油
- シェル石油
- 鹿島石油
- 南西石油
- ブリヂストンタイヤ
- エッソ化学
- シェル化学

- 徳山曹達
- 東洋化学産業
- ゼネラル石油精製
- 日揮化学
- プロクター・アンド・ギャンブル・サンホーム
- アンネ
- 北陸製薬
- ジョンソンエンドジョンソン
- P&G石鹼
- P&Gサンホーム工業
- 東洋プロダクツ
- 三共バカリス
- 日本オイルシール工業
- 宇部アンモニア工業
- 安徳皮化学成所
- ジョンソン
- デ・ボンフューイースト
- プリシトンペカルトスクールコード
- 巴川製紙所
- ダウケミカル日本
- 日本特殊農薬製造
- トーレ・シリコーン
- 永井衣料
- ポリプラスチック
- 四国化成工業
- 日本プロクター&ギャンブル
- サン・アロー化学
- 金融、保険、証券、会計事務所関係
- 第一勧業銀行
- 平和相互銀行
- 西日本相互銀行
- 日本長期信用銀行
- 日本開発銀行
- 協和銀行
- 三和銀行
- 太陽神戸銀行
- 三菱信託銀行
- 三井信託銀行
- 安田信託銀行
- 住友信託銀行
- 中央信託銀行

- 明治生命保険
- 住友生命保険
- 第一生命保険
- 東京海上火災保険
- 大正海上火災保険
- 大成海上火災保険
- 第一証券
- 三洋証券
- 新日本証券
- 山一証券
- 和光証券
- 日本勲業角丸証券
- ナショナル田林証券
- セント&ウイニエ会計事務所
- デロイト・バスキンス&セルズ
- 監査法人サンワ事務所
- ビートマ・ウィックミッチェル
- プライスウォーターハウズ
- ライブランド会計事務所
- 辰巳共同会計事務所
- 鈴木豊会計事務所
- 扶桑監査法人
- 昭和監査法人
- 九段法律会計事務所
- 官公庁、大学、研究所、病院関係
- 電電公社
- 川崎市役所
- 専売公社
- 大蔵省
- 郵政省
- 運輸省航空局
- 国鉄
- 慶応義塾大学
- 長崎大学商工短大
- 日本大学医学部
- 東京医科大学
- 東京工業大学
- 早稲田大学
- フランシスコ修道会本部
- 国立精神衛生研究所

- 動力が核燃料開発事業団
- 医道の日本社
- 日通総合研究所
- 日本リサーチセンター
- 日本海事検定協会
- 日本能率協会
- 日本機械学会
- 日本軽金属総合研究所
- 野村総合研究所
- 鈴江特許事務所
- 藤野医院
- 日本大学病院
- 千葉大学附属病院
- 大阪府立医学部
- 法政大学
- 河上病院
- 大阪府立貿易専門学校
- 東京理科大学
- 東京歯科大学
- 商業、サービス関係その他
- エービーシー商会
- アイワ商事
- 蝶理
- エクマン商会
- 福本
- 富士塗油器
- ヒロカメ商会
- 汎米貿易
- 光南通商
- 北尾書籍貿易
- 教文社
- 松坂屋
- 日本紙パルプ商事
- オール商会
- オールトパー
- OSG販売
- パレス・エンタープライズ
- ラッキー商会
- ローヤルインター・オンラインズ
- さいか屋
- 町田店
- 泉然糸
- 三・エス

- 三洋貿易
- トヨタ自動車販売
- 東京三菱コルト自動車販売
- 養命酒製造
- 電通
- 博報堂
- 蓬来閣食堂
- 国際トラベルサービス
- 朝日新聞東京本社
- 日本テレビ放送網
- テレビ朝日
- 日本交通公社
- アキタ
- 旭松凍豆腐
- アジア海運
- 米海軍厚木基地航空機修理部
- BOISE CASCADE CORP
- フジシミオール朝比奈法律事務所
- ビューラミマ
- エアリフト
- G.D.S.EALE FAR EAST INC.
- 本洲ビルディング
- 北野輸送
- キトー
- 中野汽船
- 日本水産
- 日本航空
- 日本ムーグ
- 岡村製作所
- オプティマスジャパン
- ポリドール
- シンワ運輸
- サイバガス
- サンビー輸送
- セントラル硝子
- 東洋航空事業
- 東京急行電鉄
- 東亜国内航空
- 東京ガス
- ウインスロップ
- 山九運輸
- アセア・ガデリウス

- ケモ・コスメティック販売
- 守谷商会
- 日本規格協会
- 三洋出版貿易
- タカキベーカーリー
- トヨベツサービスセンター
- シーメンス
- サン・ヴァレイ
- 国際ヨーホー
- 中川デザイン研究所
- 世界救世教
- 山下新日本汽船
- 昭和郵船
- マン・パワー
- 東証出版
- 長野コカコーラボトリング
- 馬場大光商船
- オリエンタルモーター
- 日本経営者団体連盟
- 日本生活協同組合連合会
- 日本鉄鋼産業労働組合連合会
- 後楽園スタジアム
- 三浦印刷
- 味の素
- シーメンス・トラベル
- シーメンス・メディカル・システムズ
- 日本オリベッティ
- トミー
- 高久
- 日本シーカーアール
- 藤井商会
- ブリマム
- グレイハ広
- 松本倉庫
- 三川
- 松永酒造

(順不同)

利用企業の声

当事業の国際化の進展にともなって、社員の国際的なコミュニケーション能力の一層の向上と国際感覚の養成が不可欠となっている。LIOJは、短期間にこの要請に応える効果的な集中研修である。当社では、国際化対応の中核となる人材を逐次派遣し成果をあげている。

新日本製鐵株式会社 能力開発室
行員の国際感覚醸成には、当行でも、いろいろな形で力を注いでおりますが、とりわけLIOJには、希望者の中から社内選考にパスした者を受講させ、国際化推進の「要」となる人材の層の拡大を図っております。

平和相互銀行 人事部 研修担当課長
LIOJの合宿による集中訓練は「学ぶ」「習う」だけでなく、生活の中で「使う」ことが求められる。このことは英語を使う生活のすべての面での能力向上につながるため、当社としては海外派遣予定者の訓練に活用している。

KDD学園 研修部 第2研修課長

当社では海外要員育成教育システムの中にLIOJを組み込んでいるが、教師陣の質の高さとバラエティに富んだカリキュラムは新人・中堅を問わず好評である。

富士通株式会社 教育訓練部教育訓練課長

ある程度の基礎力があり、あと少しで英語を話せるようになるレベルの者を育成するには強制的かつ集中的な体験学習が望ましい、当社はこうした考えで社員をLIOJに派遣している。

ブリヂストンタイヤ株式会社 人事部 研修課長

当社では海外協力事業を積極的に展開しており、国際性豊かな人材の育成を図るため英語力のレベルアップ並びに外国語の雰囲気への体得にLIOJを活用しています。

電源開発株式会社 労務部 研修課長

急速に距離と時間が短縮された世界の共通語はやはり英語である。加えて、当社は多国籍企業であり、多くのInternational Managerの来日、又日本人従業員の米国本社派遣やTrainingにLIOJは欠かせない存在である。

P&Gサンホーム株式会社 総務部長

急に海外派遣が決まった者にとって外地で支障なく任務を遂行するためには、何より短期間に精神的な自信を持たせて送り出すことが肝要である。LIOJの合宿特訓課程はまさにそうした目的に合致している。

東京海上火災保険株式会社 研修室 研修課長

海外駐在員、海外合併会社への派遣内定者の語学力を、短期間に効果的にレベルアップさせるためLIOJを受講させています。

東レ株式会社 人事部 海外人事課長

会社別受講者数上位10社

過去合計	最近1年間(第99期~109期)
富士通 154人	清水建設 20人
小松製作所 108人	富士通 17人
ブリヂストンタイヤ 85人	新日本製鐵 15人
三菱電機 82人	電源開発 14人
三井造船 80人	P&Gサンホーム 14人
日本長期信用銀行 79人	日本軽金属 13人
東レ 65人	日本P&G 13人
P&Gサンホーム 53人	シーメンス・メディカルズ 13人
本州製紙 50人	和光証券 11人
KDD 40人	ブリヂストンタイヤ 9人

(以上375団体、2,092名の受講者があり、それぞれ内外の第一線で御活躍中です。)

●最近3年間受講者年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
1980年(1-10回中間集計)	93	149	37	5	1	285
1979年(1-11回)	90	149	25	6	1	271
1978年(1-11回)	95	104	38	7	1	245
合計	278	402	100	18	3	801
割合(%)	34.7	50.2	12.5	2.2	0.4	100

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式を採用する語学教育・研究機関として昭和43年3月設立。短期間で生きた英語の習得と外国文化の理解を図るとともに国籍を越えた真のヒューマンリレーションを体得していただくため英語オンリーの徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。「企業人向け《合宿》英語特訓課程」、「大学・短大生向け夏期《合宿》英語集中課程」、中学・高校の英語の教師を対象にした「ワークショップ」、「企業人向けスペイン語講座」の他、「通学コース」などを企画し、すでに1万名を越える受講者があり各界から御好評をいただいています。

また、語学教育と文化コミュニケーションの機関誌「クロスカレンダー」の発行、新しい教材の製作や教授法の開発、在日外人英語教師のための「TEFL会議」の開催、東南アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。



●LIOJ本部事務局「企業」係

●LIOJ東京オフィス「企業」係

〒250 神奈川県小田原市城山4-14-1
アジアセンター2F TEL:0465-23-1677

〒106 東京都港区南麻布4-9-17
お問合せのTELは本部事務局まで。